

# 第9回 大分市バリアフリー基本構想推進協議会

## 次 第

日時：平成30年5月16日(水) 10:00～

場所：コンパルホール 3F 300 会議室

### 1. 開 会

事務局 挨拶

### 2. 協議会会則の改正について

### 3. 第9回 大分市バリアフリー基本構想推進協議会

#### ○議 事

#### 1. 平成29年度の取組状況

特定事業計画の進捗状況 [資料1]

関連事業計画の進捗状況 [資料2]

生活関連施設での取組状況 [資料3]

心のバリアフリーの取組状況 [資料4]

その他

・バリアフリー法改正の動きについて [資料5]

2. 第8回協議会における意見について [資料6]

3. バリアフリーに関する要望について [資料7]

4. 平成30年度の年間予定について [資料8]

5. 意見交換

## 第9回 大分市バリアフリー基本構想推進協議会の結果（意見要約）

- 完了済の事業について、ディテールを見ると経年劣化もしますから、状況が変わってくると思います。この構想の目標年次である2020年度を見据えたときに、どこかでもう一度点検を行って、今後の課題とかを出して2020年度は書類と実態がマッチするような形で一区切りを迎えるように、より改善を図っていただければ望ましいです。
- 食事の場というのは観光客に限らず地元の方にとっても重要で、仮に食事スペースが段差解消されていてもお手洗い、複合ビルの場合の共同トイレが不十分という例もあります。そういうこともあるので総合的にチェックをするという機会をどこかで持ってそれを更新していくことが必要かなと思います。
- 基本構想作成市町村数が、全市町村の約2割と非常に少ない状況になっているにも関わらず、大分市はよく進んでいる事例だと思っています。今後ますます市町村と都道府県が密接してこの協議会に取り組んでいく必要があります。
- バリアフリー新法の改正の動きがありますが、ただただ理念だけが先行して、全体的な底上げにならなければ非常に厳しい部分があります。我々委員も一緒になって検証しながら進めていかないといけない。
- ホルトホールのエレベーターが3基あるのですが、車いす専用とベビーカー専用のどちらともつくって残りは普通にしたらいいのではないかと思います。そういうふうな考え方もしていただければと思います。
- スロープ付のバスが増えてきていますが、バス自体がハード面でいいバスが導入されておりますので、実際に乗降の操作をされる運転手さんへの研修とか教育等のソフト面の強化を図っていただきたい。
- 大分市の観光施設のバリアフリーマップを、主に車いすでの利用を想定して掲載と書いているが、実際に車いすで現地をチェックしたうえで掲載されているのでしょうか。情報が提供されても実際が違うということになると信用性がなくなると思います。
- オリンピックやパラリンピックがある中で、障がい者の方によって違いがありますのでソフト面の対策が非常に重要であると思います。

- 中心市街地の歩道について、かなり整備が進んでいるところですが、スロープがかなり急なところがあって、段差と同じようなところもあります。工事の前に実際に車いすで通ることを試してみるなど、これからの道路整備をされていく中で、車いすで実際に使いやすい様な方策を取りながら進めていただきたい。
- 非常電話が高速道路上にいくつかあります。高速道路上でトラブルが起きた場合に、聴覚障がい者は電話でのトラブルの報告はできませんし、係員に言われることを聞くことは出来ません。そのような聴覚障がい者に対しても対応できるような処置をとっていただきたい。
- 非常電話において、聴覚障がい者の方の可能性をすぐに頭に浮かべられるような、日ごろからの情報提供を共通認識とするということ、仕組みはこうなってますただと運用されない恐れがあります。
- 特定事業や関連事業、生活関連施設での取り組みの改善項目の中に、要望に基づいて対応したものは入っているのですか。要望に基づいて昨年度こういったものを追加して実施しましたと、こういった声をどんどん言ってくればこのくらい反映させていますよといった実績を残したほうが、皆さんの理解が得られるのではないかと思いますし、潜在的なニーズももっと汲み取れるのではないのでしょうか。意見もふまえてといったところが、備考でも書き添えていただければ双方向での意見聴取ができていくというのが記録としても残ると、より望ましいのではないかと思います。
- 大分空港から大分市に行く手段は公共交通機関はバスしかありません。交通事業者の方だけでなく、県や市も行政機関として、バスに車いすが1、2台乗れるようにリフトなどをつけてもらえれば、ラグビーワールドカップなどで県外から多くの方が来られても安心ではないかと思います。
- それぞれの立場によって認識が違うので、どう折り合いをつけるかを我々も勉強していかなければならないと思いました。広域的なネットワークは一体的に整備しなければいけないと認識しております。
- 大分市発信で九州運輸局を通して九州の情報交換会をやりましょうと積極的にやっていく価値はありそうですね。事業遂行の参考にもなるし、点と点がつながっていくのではないかと思います。

( 閉会時間 11時45分 )

